

## 大方高校生が缶バッジと貝殻ストラップを寄贈

11月25・26日に開催される「高校生サミット in黒潮」に向けて11月7日、大方高校にて生徒たちのためにサミットの説明会が行われました。

説明会では大西町長が何故、津波の日が制定されたのか、そして「津波の日」の制定後、初めての大きなイベントである「高校生サミット in黒潮」の重要性について、高校生にわかりやすく説明しました。

説明会の後、サミットに向けて生徒たちが作った缶バッジ1000個と貝殻ストラップ500個を町長に寄贈しました。



貝殻ストラップと缶バッジは参加者ともりあげ隊の方にプレゼントされる予定です。

## 天満宮曾我神社大祭

11月6日、佐賀地域で天満宮曾我神社大祭が行われました。この祭は秋の豊作を祝い祈願するもので、秋晴れのもと坂折地区にある天満宮曾我神社から黒潮一番館前の広場までを、男性たちが2台の神輿を担ぎ練り歩きました。

黒潮一番館前で、神輿を納めたあとは祈禱をし、カラフルな衣装に化粧をした子どもたちによる鼓踊りが披露されました。

鼓踊りのあとは、再び神輿を担ぎ坂折地区まで練り歩き、途中、神輿を担ぎ勢いよく走る姿には、沿道で見守る方々から拍手が沸き起こりました。

近年は神輿の担ぎ手も減っており、来年も担ぎ手を募集しているとのこと。



神輿を担ぎ天満宮曾我神社を出発する様子。

## 芝崎静雄写真展

黒潮町出身の写真家、芝崎静雄さんの写真展「碧き四万十」が10月1日から31日まで、大方あかつき館にて開催されました。

芝崎さんは17年前から写真家として活動をはじめ、幡多地域や主に四万十川周辺中心に里山の風景や川面の風情の写真を撮影していて、現在は松山市に在住し活動しています。黒潮町での個展は今回が初めてで、四万十川周辺の写真を四季の順に39点を展示しました。

写真展期間中の週末は、芝崎さん自身も会場に来て、写真の説明などもしてください、来場者は普段見ることができない自然の表情を見て楽しめました。次回は黒潮町で撮った写真を集めた作品展も開催したいとおっしゃっていました。



会場に来てコメントを書いてくれた方には後日、お礼の葉書を送ってくださるそうです。

## 入野城跡発掘調査を実施しています

入野城跡は、黒潮町入野字城山に所在する中世城跡で、入野小学校西側の小高い丘陵に位置しています。遺跡がある場所の地名は「城山」と呼称され、『長宗我部地検帳』などの記載から、当時この地域の有力者であった入野氏が居城していたと推定されています。

この度、城山地区宅地造成工事に先立ち、発掘調査を実施することになりました。現地作業では、遺構・遺物の確認のための発掘を行い、その後、遺構の状況や出土遺物の整理など、発掘調査の成果を記した調査報告書を作成します。なお、現地作業が終了後、2月下旬から3月上旬ごろをめどに現地説明会を開催する予定です。



現地での作業は10月1日～2月下旬を予定しています。

○お問い合わせ

教育委員会生涯学習係

☎55-3190(直通)